

HEIWA GAKUEN

No. 78

2024年2月発行

平和学園広報



認定こども園 平和学園幼稚園

平和学園小学校

アレセア湘南中学校

アレセア湘南高等学校

学校法人平和学園

〒253-0031 神奈川県茅ヶ崎市富士見町 5-2
TEL:0467-87-0131 FAX:0467-87-2088<https://www.aletheia.ac.jp/>

平和を実現する人々は、幸いである / マタイによる福音書5章9節



「平和のこころ」の探求

理事長 所澤 保孝

私の部屋に「平和のこころー平和学園建学の精神と創立者の言葉ー」という本があります。なるべく手元に置いて繰り返し読むようにしています。

私はこの学園に勤めたころ、「平和」という言葉に少し抵抗がありました。「平和」の対極にある「戦争」に強い恐れをもっていたからです。それでもなぜか戦争は過去のもの、今の時代に現実化することは考えにくいと思っていました。

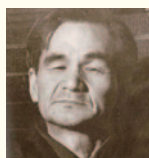
ところが、2022年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻、そしてそれに続く戦闘状態の継続。東アジア、アフリカ、中近東における政治的不安定な状態は、私の能天気な戦争観や平和観を一変してくれました。平和とは裏腹の関係にある戦争は、常に私たちの目前にあるのです。目の前にある平和は一瞬にして破壊されてしまうのです。

私は日本が太平洋戦争をしていた時に生まれました。爆撃も経験しました。私が小学生のころは戦争が終わって間もないころで、街には戦争で傷ついて困っている元軍人、親を失った子ども達、住む家や食べ物がなく困っている人達があふれていました。

また、アメリカに留学していたころ、アメリカはベトナム戦争の真最中で、留学生であつた私も徴兵検査を受けなくて

はなりません。友人の中には軍隊に志願してベトナムで戦死した者もいました。

「平和学園」は、私よりもっともっと過酷な戦争体験をした先人たちが、「平和」への真摯な願いと誓いを込めて設立した学園であり、誇り高き学園名なのです。学園では小中高を通じて探求教育に力を入れています。この学園に学ぶ皆さんは、是非在学中に平和学園の目指す「平和のこころ」とは何かを探究し、それを身に付けるようにしてください。学園を巣立ってゆく人達は「平和のこころ」を胸に平和をつくりだす人になってくれるように願って止みません。



初代学園長 村島 帰之



初代理事長 賀川 豊彦



聖書の言葉

『キリストの平和』

「ロサイの信徒への手紙3章15節



「キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。この平和にあずからせるために、あなたがたは招かれて一つの体とされたのです。いつも感謝していなさい」

今、自然災害や武力紛争によって、生きることが困難に立たされている人々が身近に、また世界中にいる。その中でもパレスチナガザ地区、ウクライナの子供たちの映像には心が痛む。正義と平和な世界を、皆が求めていながら、なぜ、残虐な戦争が今も繰り返されるのか。戦争に対する私たちの学習能力の低さを思い知らされる。人間の知恵と努力を極めても平和を実現できないことは痛恨の極みである。

しかし、この世の現実を前に聖書は「キリストの平和」を告げている。この平和の原語「シャローム」は欠けることが一つもない、完全性、完璧さを意味する。「キリストの平和」とは、いちばん小さく弱い者の存在を神が大切にする平和である。争いのある所へ出て行き、武力ではなく神の愛の戦略をもって、そこに平和を実現することである。実に困難な課題であるが、真の平和を実現される神の側に立ち続けることを大切にしたい。

学園宗教主任 鳴坂 明人

Heiwa Topics

認定こども園 平和学園幼稚園

Happy are those who work for peace 平和を実現する人々は、幸いである



本と私



「いばと室」での

本との出会い

幼稚園は、生活やあそび、行事を通じて子どもたちの関係性が結ばれていく場所です。子どもと子どもが出会う場所、子どもとモノが出会う場所。様々な環境が子どもたちをつなぎ、彼らの育ちの栄養となります。そのひとつの環境が図書室です。幼稚園では図書室のことを週一回の貸出文庫「こぼと文庫」にちなんで「こぼと室」と呼んでいます。

年中組の頃には、床にばたんと広げて絵本を読んでいた年長組のあの子。今では、床や椅子、そのときに落ち着く場所にゆったりと座って読書しています。絵よりも字の方が多い本です。時折、登場する挿絵と自分の頭に描いている世界とを確認するようにまじまじと見ています。

年少組や年中組の子どもたちはというと……おそらく家庭ではひとりで読んだり、家族の方に見聞かせてもらったり

お泊り保育

7月15・16日、年長組が幼稚園でお泊り保育をしました。次々と届くなぞの手紙。なぞ解きをしながらか冒険をたくさんした2日間となりました。



するのが本との付き合い方なのでしょう。幼稚園ではというと、一冊の本を真ん中に友だちと感想を言い合いながら読み進めていきます。図鑑に登場する生き物の大きさや特徴に驚嘆したり、迷路や探し物の本（ウォーリー）を探せ、ミッケなどのなぞ解きに頭を抱えていたりします。本を通じて、自分の内側が耕されたり、友だちとの関係が深められたり、ことばに対する好奇心が刺激されたり、育ちの場としての図書室の在り方は、小学校以上のそれとは少し異なるのかもしれない。ゆったりとした時間の流れる「こぼと室」での子どもたちの姿を見ると「ほっ」とします。

年長組

水族館活動

「ホオジロザメの歯は抜け変わるからだよ」それは、大きな口を開けたサメの歯が前後2列に並んでいる理由を尋ねた時の子どもからの返事です。図鑑に書かれていたそうです。

平和学園幼稚園の年長組は、9月に入ってすぐ新江ノ島水族館にバスで出掛けます。様々な感想を抱いて帰ってきた子どもたちは「エイの目がヤギみたいだった」「サメのたまごが丸くてモヤモヤがいっぱいだった」など見てきた感想を話し合います。そして自分たちも海の生き物を作ってみよう、と図鑑で調べ始めました。より本物に近い海の生き物を作るために、子どもたちは図鑑を見ながら作ることになっています。材料はどうしようか、本物と同じ大きさにしたいけれど、

〇mってどれ位？ など各自試行錯誤を繰り返す日々。その都度周りの友だちや先生の力を借りながら考えます。どんな時にもまず図鑑に描かれている本物の形や色を自分の目でじっくり見る、ということとを大切にしました。

違う学年の子どもたちが様子を見に来ることもあります。「何作ってるの？」「絵の具塗ってみたいよ」「年長児は「いいよー」壊さないように気を付けてね」など返事をしていました。この異年齢の関わりが小さい子どもたちにとっても大切な経験として積み重ねられていくのです。



ずっと集中力が続かない時もありました。時には違う遊びをしてから作ったり、ここまでやった外に行って遊ぶと決めてみたり。でも友だちが作り上げた生き物を見て、「自分も完成させたい！」と触発され、再び取り組む姿がありました。

ある時は「ダイオウイカの吸盤をいくつも作るの大変」「イワシの群、一人ではできないよ」など、それぞれが困っていることを話し合いました。「自分のが終わったから手伝うよ」「食休みにみんなで作ったら？」と一人では難しいこともみんなが知恵を出し合い、力を合わせて乗り越えることで子どもたちは協力し合う大切さを自然と学んでいきました。

平和学園幼稚園には沢山の図鑑があります。特に海の生き物に関する図鑑に年季の入ったものが多いのは、子どもたちが本物を見学し、本物を作りたいという思いを大切にしたいからなのです。

Heiwa Topics

平和学園小学校

Happy are those who work for peace 平和を実現する人々は、幸いである



本と私



平和学園小学校の図書室

休み時間の図書室では数人の子ども達が一冊の本に集まり、嬉しそうに一緒に読んでいます。私達の図書室は、周りの迷惑にならないければ、おしゃべりしながら本を楽しむのです。そんな図書室のコンセプトは、「みんなが使いやすい、みんなが本を読みたくなる図書室」です。児童が豊かな本の世界に出会えるよう工夫しています。

図書委員会

図書委員会は毎月の新着本紹介と配架、貸出カードの管理、返却処理、図書室の清掃、毎日の新聞の入替え、イベントの運営……と多岐に渡ります。本好きでなくても、そんな仕事が好きで選ぶ児童もいます。毎年図書委員を選んで誇りをもって活動する児童も多くいます。その一人、図書委員長に委員会についてインタビューしました。

★4年間続けた理由は？

↓いつの間にか続けていた

★好きな仕事は？

↓バザーなどのイベントの運営



★大変なことは？

↓新着本の紹介文をつくること

★お勧めしたいことは？

↓作文がうまくなる。他の学年の人とも仲良く活動できる。図書室のことをみんなに教えられる。

図書ボランティア

図書室運営には保護者ボランティアも欠かせません。月一回の活動にはさまざまな仕事があり、あつという間に2時間が過ぎます。どなたでもいつでも参加することができ、得意なことや経験が無いこともお互いにフォローしつつ作業を進めてくださっています。子ども達の読書活動に直結する活動に感謝です。同時に学校や子ども、趣味のこと等々いろいろな話題で学年を越えた交流の場にもなり、とても温かい雰囲気です。皆様に支えられている図書室です。



読書の授業

全学年に「読書」の授業を設けています。まず「5分間朝読」で、静かに一日を始めます。週一回の授業では、低学年は本に親しむことに重きを置いています。3年生以上は毎回テーマがある「読書のための読書」です。分類方法、資料の使い方、心に響く本、誰かに届けた本、ブックトーク、茅ヶ崎市立図書館との連携等のプログラムを行い、本をより身近なものにしてもらいたいと考えています。授業を経て未知の分野を手にする児童を見かけると、心の中で「やったー」と呟いています。本を通し、思考や世界が広がり深まることを願っています。



平和学習としての修学旅行

修学旅行は6年間の平和の学びの集大成です。沖縄慰霊の日直後に行き、多くの見聞から、改めて「平和とはなにか」「どうすれば平和をつくりだすことができるか」を深く考えます。「ひめゆりの塔」「平和祈念資料館」「対馬丸記念館」の展示、戦争体験者の話、ガマ体験、ガイ

ドの話等を通じて、児童は立て続けに沖縄戦の悲惨さや残酷さを知りました。

弱冠12歳の子どもたちのこのような体験には賛否あるでしょうが、少なくとも彼らは過去に何があったのかを正しく知ることができそうです。また、米軍基地問題や環境問題を考える機会も持ちます。米軍基地問題は神奈川県も同様に抱える課題の一つですが、茅ヶ崎では実生活に大きく影響することはあまりありません。しかし、普天間では頭上を戦闘機が飛ぶのを目の当たりにし、辺野古では基地建設のための船や重機、大量のブイを目視で確認しました。隣人のさまざまな立場・主張があることも理解し、自分で考えを深めていくことが平和への道を歩むことにつながるのです。

夏休み明けの「平和とともに」で、6年生がこの体験から醸成された平和への想いを多くの人へ伝えること、1年生からそれを受け取ることもまた大切な学びです。



Heiwa Topics

アレセイア湘南中学校

The truth (aletheia) shall make you free 真理はあなたたちを自由にする



本と私



高校生になり、忙しい毎日ですが、私は定期的に必ず読みたくなる本があります。その本は『ザ・ランド・オブ・ストーリーズ』(*)です。この本はシンデレラ、白雪姫、赤ずきんなどお馴染みのキャラクターが住んでいる場所に双子の兄妹が迷い込んで悪と戦うファンタジー物語です。物語の登場人物はお馴染みであり、とても親しみやすく大好きな本の一冊です。いつもこの本を読む時は物語の世界を頭の中で想像して、まるであの双子のように吸い込まれるような感覚になります。そして、これが本の一番の魅力だと思います。例えば、飛行機では、この世界に存在している場所にしか行けません。しかし、たくさんの文字しか見えない本は読者を深海から宇宙、さらには想像を超えたところまで連れていきます。

私は、これからも色々な本を読み続けていきたいと思っています。(高校1年)

(*)『願いをかなえる呪文 ザ・ランド・オブ・ストーリーズ』クリス・コルファー著 平凡社

「出張図書室」



本との出会いを創る中学図書委員の取り組み

高校生平和大使からお話を聞きました。



平和を願って千羽鶴を献納しました。



中学3年 研修旅行

今私たちにできること

中学3年生は10月24日(火)～27日(金)に長崎方面へ研修旅行に行ってきました。テーマは「平和」「災害」「宗教」。特に、今年は平和学習として「高校生平和大使」から、活動の様子や平和への想いを伺うことができました。原爆が落とされて78年。「長崎を最後の被爆地」と、長崎県では1998年から高校生の平和大使を選出し、今年で26代目となります。中学生とあまり年の変わらない高校生が、核兵器廃絶を求める署名を集めて国連へ提出したり、ジュネーブで行われる軍縮会議でスピーチを行ったりと、世界の平和を願って真剣に向き合う姿に、心打たれた生徒が多くいました。

また「微力でも無力じゃない」という平和大使の言葉に、ハツとして「今の自分たちができることは何なのか」と生徒たちは懸命に考えていました。そこで浮かんだ答えとは「目をそらすず知ること」「正しく知ること」「それを学校に帰って後輩に伝えること」。そして、平和とは一見難しい大きな問題に思いがちですが、本当はもっと身近にあって、「今続いている日常を守ることだ」と考える生徒もたくさんいました。

職業体験で学んだこと

中学2年



生徒たちは事業所に電話をし、職業体験のお願いをしました。

私は市内の小学校へ職業体験に行きました。その理由は6年間学んだ学校で、生徒という立場ではなく、違う立場で体験したいと思ったからです。職業体験当日は、1年生のクラスに行きました。授業は、図書やシャボン玉、図工などです。私は児童のサポートをしたり、先生の手伝いをしました。授業中は、みんなが積極的に発言をしていて、小学校ならではの光景を見ることができました。職業体験を通して学んだことは、相手に理解してもらうためには、相手の理解できる内容や話し方が必要だということです。また、私にとって仕事とは、人々を支えると同時に、支えてもらうことで成り立つ大切なものだと思います。

中学弁論大会

弁論を通して学ぶ「ロジック(論理)」



アレセイア湘南中学校では、毎年、国語の授業で全員が弁論に取り組んでいます。これは生徒自身が「どんな問題意識を持ってどのように思いを伝えるか」という学習で、「思考力」や「文章の構成力」、「表現力」、そして、これから社会で生き抜くための大切な「ロジックを組み立てる力」にもつながります。

中1～中3の各クラスから代表生徒計14名が選出され、10月4日、保護者や小学生も迎えて発表を行いました。大勢の前で堂々と主張を論じる姿とその内容の素晴らしさに多くの聴衆が胸を打たれたことでしょう。3年間の弁論で培った力で、それぞれの素晴らしい未来を切り拓いてほしいと思います。

Heiwa Topics

アレセイア湘南高等学校

The truth(aletheia) shall make you free 真理はあなたたちを自由にする

学校のリーダーとしての活躍と成長

体育祭実行委員長を担当して

高校3年

私は体育祭実行委員長を務めました。どうすれば私たち実行委員と委員を立ち上げた先生の思いが伝わるか、みんながやりたいことは何かなど考えることが想像以上にたくさんあり、毎日体育祭のことを考えていました。話し合いがうまくいかないなど辛いこともたくさんありま

したが、乗り越えられたのはたくさんの先生と友達の支えのおかげです。私はこの経験を通して、自主的に行動すること、周りの人たちと協力することの大切さを知りました。自分たちのやりたいことを出し合って意見をぶつけ合い、探究した先にステキな思い出になったら嬉しいですし、この思いを後輩が受け継いでくれることを期待しています。今年度の体育祭は本当に素晴らしいものでした！みんなのとても楽しそうな姿を見て、頑張った良かったと思うことができました。最高の宝物がありました！



全校生徒で
“ありがとう！”



学年の枠を超えて体育祭を運営した実行委員のメンバー



応援団としてチームを鼓舞！

沖縄研修旅行から考える平和

高校2年

平和祈念公園では、国籍を問わず沖縄戦で亡くなった方々の名前が刻まれた「平和の礎」を訪ねました。記念碑に刻まれた名前からの数から、私は犠牲者の多さを思い知らされました。また、隣接する平和祈念資料館では戦争を経験した人の証言を読むことができました。その証言は、目を背けたくなるような事柄ばかりですが、記憶しておかなければならない大切な出来事だと思いました。そして私はイリウジガマに入洞する機会を得て、当時の証言の追体験をすることができました。ガマの足元はぬかるみ、懐中電灯を消すと真っ暗になります。沖縄戦が市民にとっていかに過酷で悲惨なものであったか、私が想像するのには十分でした。

私は過去の惨劇を二度と繰り返さないため、何が出来るのかを考え続けたいと思います。そして、自分の意見をしっかりと持つことが平和に繋がる第一歩となることを、この沖縄研修旅行で学びました。



首里城公園 守れ門を見学。



万座毛は圧巻でした。

広島平和の旅に参加して

高校1年



訪問先の教会で牧師先生よりお話をうかがいました。



旧広島陸軍被服支廠を見学

今年の8月、私は自分にとっては2回目となる「広島平和の旅」に参加しました。昨年度は似島のフィールドワークでしたが、今年度は広島市内に残されている被爆遺構を多く訪れました。私にとって特に印象深く残ったことは広島市内の被爆遺構を案内してくださった方から、お昼ご飯と一緒に食べながら伺ったお話です。それは原爆による被害は、爆風や熱線、放射能などによる直接的な被害のほかに、「生き残った／残らなかった」から生じる「いじめ」の問題があったということです。このお話を伺った時に、私は人類が作った原子爆弾は建物だけでなく、人間関係でさえも破壊してしまったのだと思い、深く心が痛みました。私にとって「平和」とは、当たり前の日常そのものだと思いません。戦争では、平和は生まれませんし、誰も幸せにはなりません。被爆された方々が少なくなっていく今、このことを伝えていくことが、今生きている私たちの役目なのだと思います。

部活動紹介

サッカー部



アレセア湘南高等学校サッカー部は、選手は2年生が9名、1年生が6名、そしてマネージャーは2年生が2名、1年生が2名の計19名で活動しています。私達は公式戦一回戦の突破を目標に、サッカーを楽しみながら日々練習に取り組んでいます。普段の練習ではパスやシュート練習、そしてゲームなど基礎的練習を徹底して行い、実戦で活かせるようにしています。また、マネージャーは選手がサッカーに集中することができる環境を第一に考え、サポートをしています。

チームの良いところは個性溢れるメンバーが多く、活動の時間だけではなく、いつもみんなの仲が良く、毎日楽しく部活動をしています。初心者でも大歓迎です。ぜひ、サッカー部に来てください!! (高校2年)

法人だより

I 会 議

- ・理事会 10月12日 1月11日
- ・常任理事会 7月6日 9月7日 9月28日 10月11日 12月7日

II 行 事

- ・収穫感謝礼拝(各部)
 - 幼稚園 11月7日
 - 小学校 11月10日
 - 中学高校 11月16日
- ・クリスマスツリー点灯式(全学部) 11月17日
- ・クリスマス礼拝(各部)
 - 幼稚園 12月15日
 - 小学校・中学高校 12月14日
- メッセージ
 - 幼稚園 鳴坂 明人(本学園宗教主任)
 - 小学校・中学校 児玉 慈子牧師(日本キリスト教団 平塚富士見町教会)
 - 高校1年 越智 馨牧師(日本キリスト教団 茅ヶ崎恵泉教会)
 - 高校2年・3年 櫻井 重宣牧師(日本キリスト教団 鎌倉泉水教会)

Information

アレセア湘南後援会



会長
星野 俊則

後援会は、6月に定期総会を開催し年度のスタートを切ります。7月には、高校野球の応援で球場に足を運びます。選手のプレーとスタンドからの熱い応援には、いつも元気をいただきます。

10月には、現役保護者の方々も含

めた皆さんと恒例のバスツアーを企画し、「鉄道博物館・小江戸川越散策」に行つてまいりました。日常の忙しさからは解放され、ゆったりと秋の時間を過ごせました。平日でも人も多く、両手一杯のお土産を購入して楽しいひと時を過ごしました。

今後クラブ活動の支援等含めて、学園の後押しができるよう皆様方のご理解・ご協力をお願いする次第です。

ご加入を随時受け付けております。(学園事務局まで)

平和学園・アレセア湘南校友会



会長
倉澤 栄太

昨年は3年ぶりにジャズコンサートやパイプオルガンコンサートを感染症の制限なく開催でき、多くのご来場を頂きました。開催にあたって

は市内自治会の回覧板で平和学園を広くPRする機会にもなっています。こうした活動を通して地域の皆様に平和学園を知って頂くことは、学園と地域との関係を再確認する場でもあると考えております。学園の児童・生徒が地域に支えられて成長していくことを願つて本年も活動をしてまいります。

中学高校同窓会



中高時代は人生の土台となる学びや出会いが与えられる大切な時期です。在学中は仲間と切磋琢磨し、勉学に行事に部活に充実した毎日を過ごしたのではないのでしょうか。

その大切な時期を過ごした学校と仲間との絆を大切に、はぐくむの

が同窓会です。

また同窓会は後輩を支える働きもしています。入学式や卒業式のお祝いのお花や卒業証書入れの贈呈もその働きの一つです。同窓会奨学金を贈呈し、学びを支える働きもしています。

まもなく卒業式を迎えます。新卒業生の皆さんの新しい歩みが神さまに祝福されるように祈るとともに、同窓生としてアレセアを支える輪に加わつてくださることをお待ちしております。

小学校同窓会



会長
神尾 元洋

聖書に出会ったのは小学校に編入した時です。当時はその内容をよく理解できませんでしたが、やがて成長する過程で様々な壁に突き当たつ

た時、力をくれたのは手元にあった聖書の言葉でした。そこから多くの本を濫読しましたが、私にとって本は人生の道標であるように思います。私たちは子どもころに出会う様々な経験に支えられて生きています。

同窓会では卒業生の経験を温め伝承し、平和学園の良さを広めてまいりたいと思います。